



From  
the People of Japan



つなみ まも

津波から守ったドライバーの

リオア





わたし  
私はここで  
ねんはたら  
10年働いています。



リオアは  
おうこく  
トンガ王国で  
さいがいきゅうじよ  
災害救助などにあたる  
こっかぎんぎゅうじたいかんりちよう うんてんしゅ  
国家緊急事態管理庁の運転手。





ねん がつ にち  
2022年1月15日、  
だいきぼ かいていかざん ふんか  
大規模な海底火山の噴火で、  
つなみ はっせい  
津波が発生しました。

おお ばくはつおん  
リオアは大きな爆発音を聞き、  
ゆ かん  
ビルが揺れるのを感じました。






じょうし しじ の こ  
上司の指示でジープに乗り込んだリオアは、  
サイレンを鳴らし、  
かいがん はな ひとびと よ  
海岸から離れるよう人々に呼びかけました。



つなみ つなみ  
津波だ！ 津波だ！  
ひなん  
避難して！





リオアは大きな波が  
急にせまってくるのを見ました。  
最初の津波が来たのです。

リオアは家族のことを思いながら、  
人々に避難を呼びかけ続けました。

家族が無事でありますように。



リオアはジープを止め、  
かいが ん む どうろ ふうさ  
海岸に向かう道路を封鎖しました。

そして、つなみ ひなんようどうろ とお  
津波の避難用道路を通るよう  
ひとびと よ  
人々に呼びかけました。

つなみ かいが ん おそ  
津波が海岸を襲った。  
こちらから避難して!  
ひなん

EVACUATION  
ROAD  
1500 m

NATIO  
MAN

TO




くるま つなみひなんよう どうろ む  
車は津波避難用道路に向かい、  
かいがん はな はじ  
海岸から離れ始めました。

かいがんちか ひと  
まだ海岸近くに人がいるかも。  
もど  
戻らなくては!

のこ ひと さが  
リオアは残っている人を探すため、  
かいがん もど  
海岸に戻りました。



An illustration showing a man in a blue shirt and shorts carrying a pregnant woman in a red dress on a sandy beach. In the background, a car is partially visible, and waves are crashing. In the foreground, a man in a yellow vest with 'NEMO' written on it is looking towards the couple. The scene is set on a beach with waves crashing in the background.

かいがん ちか  
海岸に近づくと、  
ぐあい わる にんぶ  
具合の悪そうな妊婦が  
おっと かか  
夫に抱えられていました。

リオアは、  
ふたり  
二人にジープに乗るよう言いました。



リオアの車くるまで避難ひなんを始めると、妊婦にんぶは落ち着おっき、  
具合ぐあいが良よくなったようでした。

心配しんぱいしないで。ゆっくり走はしっても、  
避難ひなんできます！





そして、ついに津波が届かない  
高台にたどり着きました。

助けてくれて本当にありがとう!







ふうふ お あと  
夫婦を降ろした後、リオアは  
しょくば もど おも  
職場に戻ろうと思いました。

ひる  
まだお昼なのに、  
かざんばい そら おお  
火山灰が空を覆って  
よる  
夜のようになっていました。





リオアが職場に戻ったところ、  
驚くことに仲間たちもみな戻っていました。



かれ  
とうみん  
ちから  
きょうりょく  
あんぜん  
みず  
かくほ  
彼らは協力して、  
島民の安全と水の確保に  
力を尽くしました。



こっかきんきゅうじたいかんりちよう  
トンガの国家緊急事態管理庁は  
じかんさいがい たいおう  
24時間災害に対応し、

リオアは  
きんきゅうたいおう  
緊急対応チームの重要な一員です。  
じゅうよう いちいん



つなみけいほう はっしん じんそく ひなん  
津波警報の発信と迅速な避難は、  
りおあたちの活躍なしには  
かつやく  
ふかのう  
不可能だったでしょう。





From  
the People of Japan



UNDPは津波の恐ろしさや津波に備える方法をわかりやすく子どもたちに伝えるために、アジア太平洋地域の人々の経験談をイラストとともに紹介した「津波のおはなし絵本シリーズ」を発表しました。この絵本シリーズは、さまざまなコミュニティで津波から生きのびたヒーローやヒロインを取り上げ、津波から自分や家族、友だちを守り、大災害で受けた精神的ショックから回復する方法を説明するものです。「津波のおはなし絵本シリーズ」は6歳から11歳までの子どもを対象とし、「アジア太平洋地域学校津波対策プロジェクト」の普及開発活動の一環として作成されました。このプロジェクトはUNDPが日本政府の資金拠出を受け、2017年からアジア太平洋地域の24カ国で実施しています。

Illustration by Kseniya Kuleshenko / kseniyakuleshenko@gmail.com

Copyright © UNDP 2022

All rights reserved

No part of this publication may be reproduced without the written permission of UNDP.



For more information, please contact:

United Nations Development Programme  
Bangkok Regional Hub  
3rd Floor United Nations Service Building  
Rajadamnern Nok Avenue, Bangkok 10200, Thailand

[ASIA-PACIFIC.UNDP.ORG](http://ASIA-PACIFIC.UNDP.ORG)